

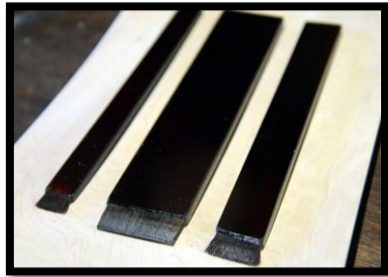
KOUGEI 椿



フォトギャラリー



蛙をあしらった前坂さんの作品



結婚10年を記念して愛妻、優子さんの髪の毛で作った刷毛

ワークショップは希望の日程を予約する。料金はK O U G E I 椿のホームページ(下記QRコード)に掲載。
前坂さん ☎ 09-6504114
09-6504114



④補修するお面の状態を見る前坂さん

自然と共にある奥深さ追い

ふくとみタイムズ

漆の魅力を発信

竹仁の漆芸家 前坂さん

金継ぎ体験や木彫り講座



伝えることで自らも進歩
工房には「鬼滅の刃」色

東広島市福富町上竹仁の漆芸家、前坂成哲(まえさか・なりあき)さん(40)が漆塗りの魅力発信に力を注いでいる。伝統工芸の漆芸を身近に感じてもらおうと、一般向けの体験会や教室を開催作家としての創作活動と並行して、地域を駆け回る。

活動拠点は、同町下竹仁の古民家を改修した工房兼店舗「K O U G E I 椿」。2020年4月の開設以来、陶磁器を漆や金で補修する「金継ぎ」や、漆塗りの箸製作のワークショップを開いている。

豊栄町乃美のものづくり体験施設「創作村」では月2回、木彫りの連続講座を主催。市内外からの受講生が木製の皿や椀に絵を彫り、前坂さんが漆を塗って仕上げる。昨年2月には竹仁小に出向き、卒業記念の塗り箸作りを教えた。前坂

さんは「人に教えたり質問を受けたりすることで、自分の引き出しも増える。気候や素材のわずかな違いで作品の『表情』が変わる漆の奥深さに、触れてもらえたら」と話す。

廿日市市出身。大学時代に漆芸に興味を抱き、22歳のとき、漆芸の後継者を育てる香川県漆芸研究所(高松市)に入った。修了後は岡山市の漆芸家に師事。新見市地域おこし協力隊として、備中うるしの普及にも努めた。2018年、長男木春君(3)の誕生を機に「育児と創作に適した静かな環境」を求め、妻優子さん(40)の実家に近い福富へ移った。改修が続く工房には今、人気アニメ「鬼滅の刃」に登場する文様と漆芸の接点についての解説を展示している。「気軽に工房を訪れて、漆の世界に触れてほしい」

アラフォー隊員

きょーれんの最近の主な活動



◎しゃくなげ館仕事初め&役員会(1月7日)
役員会では、施設の指定管理契約の次期更新が2022年春に迫る点について、スタッフが高齢化する中でどう臨むべきか意見が交わされました。



◎コミュニティ農園mikke整備(随時)
しゃくなげ館前の農地で整備中のコミュニティ農園mikkeは、春の始動に向けて防草シート張りを進めています。通路とする部分は旧年内に敷設。小雪が舞う中、ひたすらピンを打ち込む作業への没頭は案外、気持ちいい。



◎新春とんど(1月10日) 地元のとんどに参加しました。コロナ禍で中止する地区も多い中、私が住む地区では、「飲食なし」などの対策を取って簡素に実施。例年より小さめのとんどを組み、「コロナ終息祈願」など書いた書初めを燃やしました。



◎ひがしひろしま「学生×地域塾」活動報告会(1月17日) 地域課題の解決に取り組む学生を支援する東広島市の本年度プログラムが終わりました。オンライン報告会では、mikkeの運営に加わってくれた大生が、福富での経験を見事にまとめて発表。活動継続に意欲を示してくれました。

農園の草対策 学生の報告会参加



工房には「鬼滅の刃」にちなんだ布や模造刀が

ふくとみタイムズ 第8号

編集：教蓮孝匡(東広島市地域おこし協力隊、こども農園mikke主宰、中国新聞契約記者)

連絡先：takamasan76@gmail.com / 090-6412-9543

ふくとみタイムズは福富支所、福富町内の各地域センターに置かせてもらっています。

ウェブマガジンmikkeはこちらから

